

C-17 岡山県女性の体型に関する研究(第一報)

岡山就実短期大学 末宏典子 八木千鶴子 ○秋本洋子 吉田敏子

目的 体型を把握する方法としては、マルチン式計測法をはじめ種々の方法があるが、測定値は、地域差や年齢差により、かなりの影響を受けるといわれている。我々は、岡山県女性の体型を把握する為の手がかりとして、シルエッター機による女子学生の体型分析を試みた。

方法 1972年全国各地の女子学生2500名を対象として、シルエッター機による測定が実施された。我々は、その結果発表を一応全国的なものと考え、同年度の我々の資料の中から、ランダムに抽出した200名(平均年齢19才3ヶ月)との比較・検討を行なった。また、我々が年次的に実施している継続資料をもとに、岡山地方の体型の移行傾向を考察した。

結果 長径項目…岡山地方は、全国平均より身長で0.9cm劣っている(危険率5%水準有意差なし)しかし、下半身では、かなり岡山地方が優れている。中・厚径項目…中径は、ほぼ等しく、厚径は、岡山地方がやや劣っている。角度…肩角度・腸骨稜角が大きい他は、どの部の角度も岡山地方が小さい。すなわち、凹凸の乏しい体型といえよう。腕付根位置…B径前後比は、岡山地方2.105で全国よりかなり前寄りである。頭長示数…6.84(全国値なし) Rohrer示数…全国と等しい。550年度までの傾向…(550年度の全国的調査資料がな…岡山地方のみで比較する)下半身の伸び率は依然として大きい。Rohrer示数は、小さくなり1.348で数値的には問題ないが、体重が年々減少の一途をたどっていることについては、それが何に起因するものであるか、考慮する必要がある。